社会資本総合整備計画　　社会資本整備総合交付金

令和04年12月28日

計画の名称	沼津市公共下水道整備事業重点計画		
計画の期間	令和０５年度　～　令和０９年度　(5年間)	重点配分対象の該当	○
交付対象	沼津市		
計画の目標	沼津市では、第五次沼津市総合計画において、環境と共生する持続可能なまちづくりを進めるため、「人・まち・自然が調和し、躍動するまち」の実現に取り組んでいくこととしている。 このうち、「良質な水資源の確保と水質保全」の取組として、排水の適正処理の推進のため、計画的かつ効率的に下水道を整備する。		

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	3,441	A	3,441	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初	R7末	R9末
1	下水道処理人口普及率を63.0%（R5当初）から68.0%（R9末）へ向上。			
	下水道処理人口普及率（%） 下水道処理人口（人）／沼津市の人口（人）×100	63%	66%	68%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000613018

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R05	R06	R07	R08	R09	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	沼津市	直接	沼津市	管渠（汚水）	新設	西部処理区　汚水管渠整備（未普及解消）	汚水管　A=29ha	沼津市	■	■	■	■	■	1,559		―
	A07-002	下水道	一般	沼津市	直接	沼津市	管渠（汚水）	新設	狩野川左岸処理区　汚水管渠整備（未普及解消）	汚水管　A=31ha	沼津市	■	■	■	■	■	1,861		―
											小計						3,420		
水道・下水道事業	A07-003	下水道	一般	沼津市	直接	沼津市	管渠（汚水）	―	効率的な事業実施のための計画見直し	全体計画変更	沼津市			■			21		―
											小計						21		
											合計						3,441		

案件番号： 0000613018

交付金の執行状況

（単位：百万円）

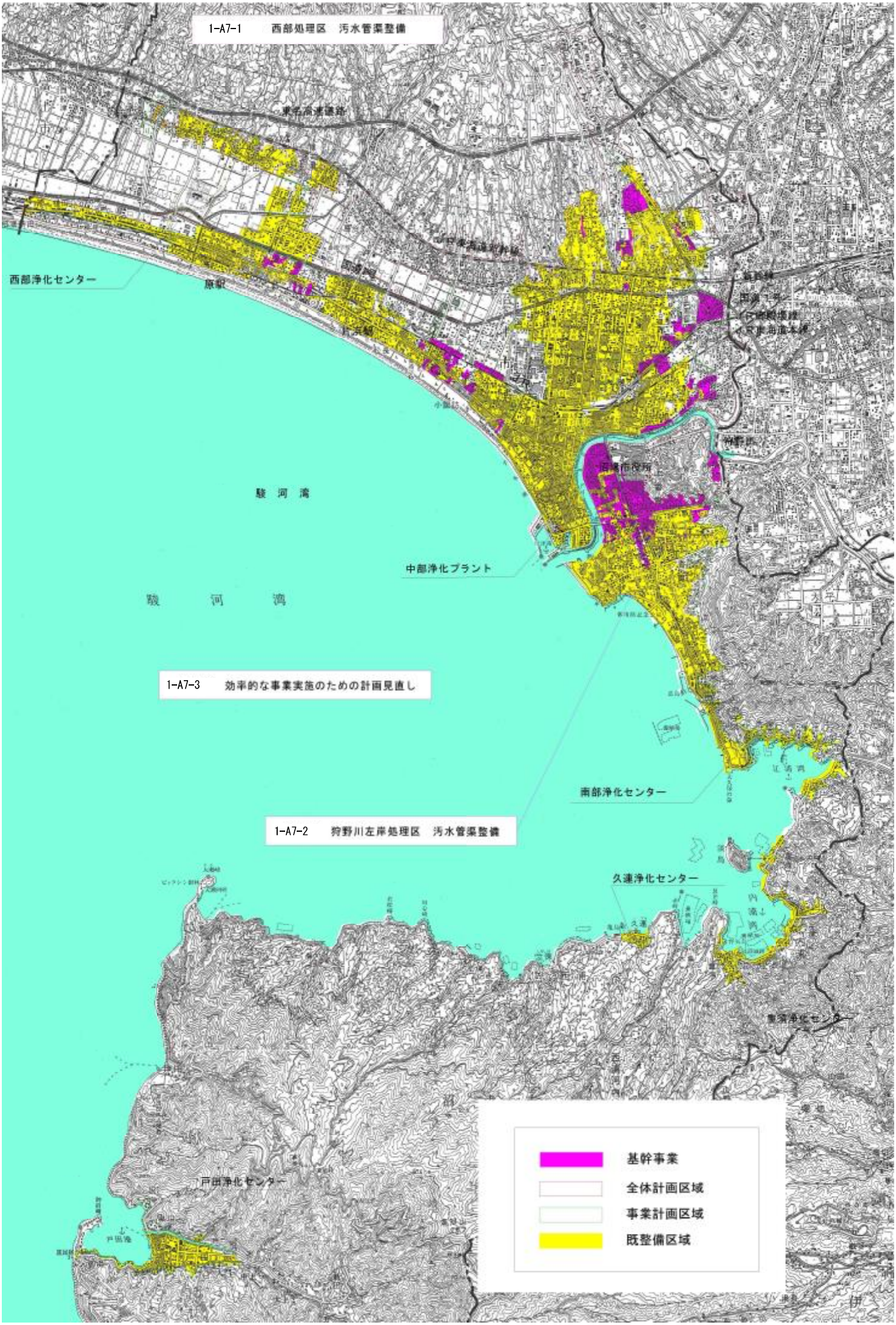
	R05				
配分額（a）	315				
計画別流用増△減額（b）	0				
交付額（c=a+b）	315				
前年度からの繰越額（d）	0				
支払済額（e）	228				
翌年度繰越額（f）	87				
うち未契約繰越額(g)	8				
不用額（h = c+d-e-f）	0				
未契約繰越率+不用率（i = (g+h)/(c+d))%	2.53				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 沼津市公共下水道整備事業重点計画

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性 ①上位計画等との整合性　１）上位計画等と整合性が確保されている。	○
I.　目標の妥当性 ②地域の課題への対応　１）地域の課題を踏まえて整備計画の目標を設定している。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　１）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　２）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　３）目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　４）指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II.　計画の効果・効率性 ④事業の効果　１）十分な事業効果が確認されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ④事業の効果　２）事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III.　計画の実現可能性 ⑤地元の機運　１）まちづくりに向けた機運がある。	○
III.　計画の実現可能性 ⑤地元の機運　２）住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III.　計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境　１）計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III.　計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境　２）交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
III.　計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境　３）計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

案件番号：0000613018


1-A7-1　西部処理区　汚水管渠整備
東名高速道路
西部浄化センター
原駅
駿河湾
中部浄化プラント
駿　河　湾
1-A7-3　効率的な事業実施のための計画見直し
南部浄化センター
1-A7-2　狩野川左岸処理区　汚水管渠整備
久連浄化センター
戸田浄化センター
基幹事業
全体計画区域
事業計画区域
既整備区域